

# 二十四の瞳

作・壺井 栄

昭和初年、瀬戸内の分教場に赴任してきた  
"大石先生"と12人の教え子との愛情あふれる物語。

貧しいが、故に幼い時から悲惨な運命に弄ばれる  
子供たち。その子供の中にある美しいものに目を  
注ぎ、それをどこまでも伸ばしていこうとする、若い  
女教師。

戦争という不可抗力に屈し、潰されながらも、  
懸命に生きる人々を描いた名作。

